

平成30年度 南丹広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
1	<p>【「京都丹波・森の京都」ブランドの強化】</p> <p>整ってきた交通・交流基盤や森の恵みを活かし、「京都丹波・森の京都」ブランドの強化を進めます。</p>	<p>京都縦貫自動車道の全線開通や京都丹波高原国定公園の指定など整ってきた交通・交流基盤や食や木など森の恵みを活かした交流の拡大と京都丹波のブランド強化により、「森の京都」の取組を一層推進します。</p> <p>[京都丹波の魅力発信・交流拡大の推進]</p> <p>「京都丹波・森の京都月間」イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月を「京都丹波・森の京都月間」に定め、森の京都DMOと連携して、食やスポーツ、温泉など京都丹波の森の魅力を体感できるイベントを開催（来場者数 10,000人） <p>周遊・滞在型観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都丹波の自然や食、文化、スポーツなど体験型の誘客メニューを中心にロードマップ化を図り、大都市部をターゲットとした周遊・滞在型観光を推進 <p>「京都丹波・写ガール隊」による情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「京都丹波・写ガール隊」による森の京都ならではの地域の魅力発信をSNSやCATV番組の制作等により、国内外に情報発信（京都丹波ブランド発信 500件） （広報大使としての活躍 15件） <p>[京都丹波の持つ豊かな食・木材等を活かした新たなブランドづくりの推進]</p> <p>京都丹波・食のギャラリー事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「京都丹波イチ推しの食」の取組を京都丹波の食のブランドとして年間を通じ発信するとともに、スポーツ・健康など次世代にフィットする商品開発を通じた「五色の豆」の新たな魅力を発信（「京都丹波イチ推しの食」販売数 10万食） <p>「京都丹波木づかい運動」の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元産材利用拡大の取組「京都丹波木づかい運動」を展開し、地元産材を活かして開発した食器など小物類を都市部での展示会等で発信するとともに、「イチ推しの食プロジェクト」と連携した取組を展開

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。

平成30年度 南丹広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
2	<p>【住むなら京都丹波プロジェクトの推進】 オール南丹による移住・定住の取組を進めます。</p>	<p>① 京都丹波への移住・定住促進のため、大都市に近いという強みを活かし、住まい、仕事、子育て・教育の情報を効果的に発信するとともに、子育て団体のネットワークづくりやリーダー養成等、地域全体で子育て支援体制を構築します。（移住者目標数 250人）</p> <p>[京都丹波・森の京都スタイルの発信] 新しいライフスタイルを提案するセミナー・交流会の開催 ・子育て世代等を対象としたセミナー・相談会の開催（14回、300人） ・移住者定着のためのネットワークづくりを推進</p> <p>地元企業等情報の発信 ・京都丹波地域の企業の採用情報と地域の魅力ある暮らしの情報等を取りまとめ、Webや情報誌等で提供 ・人事担当者向けのセミナーやUIターン希望者向けの相談会等の実施（2回、50人）</p> <p>[「子育て王国 京都丹波」の推進] 京都丹波で活躍する子育て人材の育成 ・妊娠期から切れ目のない子育て支援体制を構築するため、子育て支援に関わるピアサポーター等を育成（3回、受講者60人） 子育て支援リーダー養成塾 ・管内の子育て支援団体等のリーダーを対象に専門的な講座を開催（3回、受講者100人）</p> <p>② 宿泊・飲食・体験などの都市農村交流を進め、交流人口の拡大を図るとともに、農産物販売拡大につなげ、地域の活性化を図ります。</p> <p>[地域資源を活かした交流と賑わいの推進] 京都丹波ゆったり・おもてなし滞在プランの提供 ・教育体験旅行の受入拡大を図るため、森の京都DMO等と連携し、定着を推進（75団体、4,000人） おいしい食の応援隊展開活動 ・生産者と消費者等の絆を拡げる「おいしい食の応援隊」の活動により交流人口を拡大</p>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。

平成30年度 南丹広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
3	<p>【次代の京都丹波の活性化】 農畜産業や中小企業等の人材育成や広域観光を進めます。</p>	<p>京都丹波の農畜産業やものづくり企業など次代を支える人づくりを進めるとともに、「森の京都」を活かした広域観光を進めます。</p> <p>【京都丹波の農畜産業を支える担い手育成】 農畜産・農起業向けセミナー等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和牛繁殖、増頭に挑む「京都丹波和牛塾」、加工品開発や新たな販売PR等経営革新に挑む畜産若手後継者「チャレンジセミナー」等を開催し、畜産のトップランナーを育成（セミナー6回、50人） ・複数の少量多品目農家をまとめて生産出荷するイチ推しファームの立ち上げ支援（取組組織3箇所） <p>【中小企業イノベーション等の支援】 企業イノベーション交流会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術ニーズを持つ大手企業と優れた技術をもつ京都丹波の中小企業とのビジネスマッチング交流会を開催 <p>「京都丹波中小企業支援Aチーム」による支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管内市町、各商工会・商工会議所、京都産業21及びジョブパークからなる「京都丹波中小企業支援Aチーム」が連携し管内企業を訪問、商品開発、販路開拓、設備投資、人材確保を支援 <p>工業系人材の育成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南丹高校テクニカル工学系列と企業等との連携を促進し、地域が一体となった工業系人材を育成 ・求職者への企業情報の提供等を行い、管内企業の雇用確保を推進 <p>【「森の京都」の観光資源を活かした広域観光の推進】 森の京都観光プランコンテストの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者視点による新たな観光ツアーの開発を目指す「森の京都 観光プランコンテスト」を森の京都DMOと連携して開催 <p>京都丹波広域観光推進事業等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管内2市1町による「京都丹波観光協議会」や、旧丹波国を構成する京都府と兵庫県及び7市町が連携した「大丹波観光推進委員会」等による広域観光振興の実施

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。

平成30年度 南丹広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
4	<p>【共生と安心・安全のまちの推進】</p> <p>共生のまちづくり、交流基盤の整備を通じて、安心・安全な京都丹波づくりを進めます。</p>	<p>① 地域ぐるみで支え合い、健康長寿の京都丹波づくりを推進します。 [共生と安心・安全のまちの推進] なんたん共生社会実現事業 ・共生社会の実現に向け、女性や高齢者等、支援が必要な人たちに対し、地域の支援機関や公的支援制度の情報提供、交流の場づくりやネットワークづくり支援を実施 発達障害児はぐくみ事業 ・発達障害児に早期から関わる療育教室や、保育所、幼稚園等の従事者の発達障害児及びその保護者への対応力の向上に向けた研修を、花ノ木医療福祉センターと連携して実施（研修回数7回）</p> <p>[健康の森プロジェクトの推進] なんたん元気づくり体操事業・京都丹波の森を歩こう府民運動 ・「森の京都」の豊かな自然を活かし、「なんたん元気づくり体操」や「京都丹波の森のウォーキングコース」などを普及 「ぬくもり京都丹波」製品の販売促進 ・京都丹波オリジナルブランド「ぬくもり京都丹波」を柱とした障害者福祉事業所が作成した品質の高い製品の認知度向上及び販売促進に向けた取組を実施 なんたん輝く女性プロジェクト ・食生活改善を通じた健康づくりや女性をターゲットとした様々なメニューの健康づくりを推進</p> <p>② 安心と交流を支える基盤整備を推進します。 [地域経済の活性化、府民の安全と暮らしを守る道路整備の推進] ・広域道路網（京都縦貫自動車道八木東IC）へのアクセス道路整備 南丹市：国道477号【西田大藪道路】 ・地域基幹道路の整備 亀岡市：国道423号【法貴バイパス】、宮前千歳線【鳴滝工区】、東掛小林線【東別院町東掛】、南丹市：国道372号【南八田道路】、綾部宮島線【肱谷バイパス】等 ・橋梁老朽化対策 亀岡市：郷ノ口余部線【宇津根橋】 ・歩行者交通安全対策 南丹市：園部能勢線【竹井】等 ・市街地における都市計画道路整備 亀岡市：並河亀岡停車場線【大井町～河原町】 ・道路防災対策 京丹波町：舞鶴和知線【仏主～細谷】等 ・地域の生活を支える1.5車線の道路整備 京丹波町：京丹波三和線【質美】等</p>

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。

平成30年度 南丹広域振興局 重点目標

	重点事項	成果目標（注）
4		<p>〔災害からの安全なまちづくりの推進〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川流域全体を捉えた総合治水対策の推進 亀岡市：桂川【亀岡工区】、雑水川、千々川、七谷川、南丹市：園部川、本梅川、京丹波町：高屋川等 ・土砂災害防止対策の推進 南丹市：菖蒲谷川、京丹波町：篠原西一谷川等 <p>〔農山村地域の安心づくりの推進〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害の未然防止のため老朽化したため池等の改修の推進 亀岡市：段ノ池、上桂川統合堰、南丹市：口人奥池・口池、大保池等 ・治山事業による荒廃した山地の復旧や土砂災害の未然防止等の推進 亀岡市：本梅町平松滝ヶ池、東別院町南掛中山、南丹市：園部町植生蛇ヶ谷、美山町内久保、京丹波町：八田等 <p>〔住民による災害に強いまちづくりの推進〕</p> <p>災害に強い地域を築き、大規模な災害から自分たちの身を守るため、地域防災力の向上を図るため、地域防災リーダーの育成や防災教室等を開催（3回、100人）</p> <p>③ 暮らしの安心まちづくりを推進します。</p> <p>〔野生鳥獣被害対策の診断〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町、南丹広域振興局、農林水産技術センター、専門家により鳥獣被害集落診断チームを編成し、集落ごとの被害状況の調査・診断を行い、対策カルテを作成（年間20集落） ・ニホンザルの被害対策のため、支柱にも通電する効果の高い防護柵（金網柵及び電気柵）等普及のため実証展示を行うとともに、組織的追い払いを推進 <p>〔スマート環境学習の推進〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「森の京都」の豊かな自然を守り、自ら行動できる人材育成を目指し、“森の京都”環境体験プログラムを実施 ・子どもたちが自ら考え抽出した興味のある環境分野について、自然環境保全、廃棄物対策、地球温暖化対策の各分野のICTを活用した環境体験プログラムを作成、活用（3回） ・管内で環境教育を実践している団体、大学等に呼びかけ、京都丹波スマート環境学習推進プラットフォームを拡充し、小学生にICTを活用したモデル授業を実施（3回）

（注）目指すべき成果目標を記載する。その際、数値目標が適当な場合は、数値目標を記載する。